

新年に 年頭の

東通村議会議長

丹 内 俊 範



新年明けましておめでとうございます。

村民の皆様におかれましては、令和5年の輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

また、平素から村議会並びに村政運営に對しまして、温かいご支援ご協力を頂いておりますことに、衷心より厚くお礼申しあげ、東通村議会を代表して新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が減少傾向にありましたので村議会も活発な議員活動を行うことができました。

10月下旬に開催された、全国原子力発電所立地議会サミットでは、全国から400名を超す議員が参加し、当議会も12名が参加しました。また、毎回行われる分科会では、脱炭素社会における立地地域の在り方や、原子力の在り方、原子力安全対策と原子力規制等の課題について有意義な議論がなされました。取りまとめた意見については、原子力政策に関する要望書として経済産業省や文部科学省等に提出致しました。

また、同月に東通原子力発電所に係る要望として、東北電力(株)に早期運転開始、東京電力HD(株)に早期工事再開、そして、経済産業省及び関係省庁並びに青

森県選出国會議員に、原発促進と地域振興対策の支援を強く要請したところであります。

東北電力(株)からは、安全確保を大前提に、1日も早く再稼働できるよう取り組んでいくとのコメントを頂きました。東京電力HD(株)からは、原子力は重要な電源と認識しており、東通原発は非常に重要な地点でもありますので、しっかりと前に進めたいと回答を頂きました。

東通村議会は、昭和40年の原子力発電所誘致決議以来、一貫して、国策である原子力政策に協力してきたところであります。東日本大震災以降、11年以上もの長期にわたり、東通原発は停止しておりますので、今後も早期再稼働及び工事再開のため、国・事業者に要望活動を継続していく所存であります。

11月上旬に開催された、町村議会議長全国大会では、新型コロナウイルスの度重なる感染拡大で、社会的・経済的影響が及ぼされていることから、国に対して、感染症対策と経済対策の要請、町村の実情に応じた行政サービスを持続的に提供していくための、地方交付税等の一般財源総額の確保・充実等を要請致しました。

昨年の村議会運営につきましては、年

4回の定例会と臨時会9回、議会全員協議会、各常任委員会を開催し、村の政策形成過程及び政策の実施過程に参画し、意思決定を行いました。

議員が行う質問や質疑・討論は、村民の疑問であり、意見でありますので、予算、条例、陳情・請願等に対し、慎重に審議して参ります。激動する経済社会情勢の中で、議会も的確に対処しなければなりませんので、今後も、常に住民との対話を重ね、住民の悩みと声を汲みとりながら、議論を重ねて参ります。

議会だよりは年4回発行し、議案や一般質問、議会活動等をお知らせしておりますが、更に充実したものになるよう努めて参ります。また、是非、一人でも多くの村民に議会を傍聴して頂き、議会に関心を持って頂ければ幸いです。

具体的な政策の最終決定と行財政運営の判断と監視が議員としての職務でありますので、今年も村民の福祉向上と村発展に尽力して参る所存であります。引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

村民の皆様のご多幸を心よりご祈念申し上げます、新年に当たってのご挨拶と致します。